

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2024年7月30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪府門真市大字門真1006番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） パナソニックインダストリー株式会社 代表取締役 坂本 真治 電話番号：070-7823-4478

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	デバイスソリューション事業部 宇治拠点
導入年月日	1997年 12月22日
認証番号	EC10J0027
基本方針	電子部品の製造・販売を通して、国・地域の法規制・条例・協定及び顧客の必要な要求事項を順守し、地球・地域・工場環境の汚染予防、並びに環境貢献と事業成長を両立する環境マネジメントを推進する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	・CO2排出量削減目標： 生産高原単位 前年比1%以上改善 ・環境リスク低減
目標を達成するための取組の内容	老朽化設備更新による省エネ取組 ・稼働15年以上の老朽化空調設備更新による消費電力削減 ・エアコンプレッサーのインバータ化による消費電力削減 太陽光発電設備導入による電力デマンドピーク削減（150kW） 環境設備の老朽化対策
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネ活動として CO2削減： 目標407t→実績265t 原単位改善： 目標▲1.0%→実績▲10.5%
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	生産高が前年度比107%に増加、CO2排出量が前年度比95.8%に減少し、原単位は前年度比▲10.5%と目標の▲1.0%より大幅に改善できた。次年度は、老朽化設備更新の推進と太陽光発電設備（140kW）導入、再エネ電力の購入などによりCO2排出量の抑制と原単位改善を行う。
事業活動に係る法令の遵守の状況	排水： 瀬戸内法を順守 大気・騒音・振動・廃棄物等： 各法令・条例の順守 遵守状況： 違反及び行政当局からの指摘・指導事項無し
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	全従業員による省エネ活動を実践し、2030年CO2排出実質ゼロ計画、カーボンニュートラルの推進・CO2排出原単位の改善に取り組む。また、昨年に引き続き部門責任者の力量アップを図るとともに本来業務に視点を置いた活動の実施と重複業務の低減を図り効率かつ効果のある活動を実施すること。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。